

平成25年4月30日発行

No.31



ほこた市

議会だより



平成25年3月定例会

- 平成25年第1回臨時会 P2
- 提出議案と審議結果 P2～3
- 平成25年第1回定例会 主な質疑 P3～5
- 主な討論／討論一覧／各議員の賛否／欠席者 P6～7
- 委員会報告 P8～9
- ここが聞きたい!** 一般質問 P10～15
- 主な議会の動静 P15
- 傍聴者の声** / **6月定例会の予定** 議会報告会開催のお知らせ ... P16



今日から 学校生活の第1歩

～校長先生から学用品を
プレゼントされ緊張ぎみの新1年生～

諏訪小学校入学式
(新入生20名が仲間入り)

平成25年第1回臨時会

〈本会議〉
2月4日

主な質疑

議案第1号

鉾田市土砂等による
土地の埋立て、盛土
及びたい積の規制に
関する条例の全部改
正について

問

第8条の許可の基準で、土砂等に含まれる有害物質について、規則で定める基準に適合していることとありますが、この基準はどのような法律をもとに基準値を定めているのか、あるいは市独自でさらに厳しい基準を定めたのか伺います。また、12条で許可業者は定期的にその土壌の汚染の状況について調査して、市長に報告をしなければならぬということですが、市が独自に土壌検査をするという条項は見当たらないのですが、規則等で定めているのか伺います。

答

第8条の有害物質の基準は、公害対策基本法第9条の規定に基づく土壌の汚染にかかわる環境基準についての指針に基づく内容です。それから、12条については、市は事業者等の現場に立ち会い検査を実施していくということですので、市が独自に調査をするということではありません。

問

行政側と警察の対応や、住民側との対応など、いろいろうまくいかなかったところもあったと思います。その辺についてはどのように感じて、今後どのようにうまくいくようにしていくのか、市長の考えを伺います。

答

これまでの条例では、規制できなかった点もありました。例えば改良土は、明確に条例で禁止していませんでしたが、今回はその

迎もきっちり文面に入っていますし、また埋立て等に用いる土砂等についても、茨城県内から発生したものとほつきり明記していますので、それに違反すればこの条例にのって適切に対応します。

迎もきっちり文面に入っていますし、また埋立て等に用いる土砂等についても、茨城県内から発生したものとほつきり明記していますので、それに違反すればこの条例にのって適切に対応します。

議案第2号

平成24年度鉾田市
一般会計補正予算
(第6号)

問

衛生債の当該年度末現在高見込額は47億2,000万円ということですが、その中における水道事業債の残高はどのくらいですか。

答

衛生債の中で一般会計上における水道事業債の残高については、約30億円です。

提出議案と審議結果

◎ 全員賛成
● 賛成多数
● 賛成少数
△ 継続審査

平成25年第1回鉾田市議会臨時会

条例・規則の一部改正等

◎ 鉾田市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例の全部改正について

平成24年度補正予算

- ◎ 平成24年度 鉾田市一般会計補正予算(第6号)
- ◎ 平成24年度 鉾田市旭区域水道事業会計補正予算(第4号)
- ◎ 平成24年度 鉾田市鉾田区域水道事業会計補正予算(第4号)

平成25年第1回鉾田市議会定例会

平成25年度予算

- 平成25年度 鉾田市一般会計予算
- 平成25年度 鉾田市国民健康保険特別会計予算
- 平成25年度 鉾田市後期高齢者医療特別会計予算
- ◎ 平成25年度 鉾田市介護保険特別会計予算
- 平成25年度 鉾田市農業集落排水事業特別会計予算
- 平成25年度 鉾田市公共下水道事業特別会計予算
- 平成25年度 鉾田市水道事業特別会計予算

条例・規則の一部改正等

- ◎ 鉾田市東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について
- ◎ 鉾田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- ◎ 鉾田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について
- ◎ 鉾田市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

平成25年第1回定例会

〈本会議〉
3月5日～22日

主な質疑

議案第8号

鉾田市東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について

問

鉾田市復興産業集積区域というのはどの辺が当たるのかと、既存の工場は何社くらいありますか。

答

集積区域については、上山鉾田工業団地、鉾田西部工業団地、大蔵工業団地があります。上山鉾田工業団地は、以前、日本ビクターが進出をして、今は倉庫になっています。大蔵工業団地については、オハヨー乳業が操業しています。鉾田西部工業団地はこれからも企業誘致をしていきます。

議案第25号

平成24年度鉾田市一般会計補正予算(第7号)

問

被災住宅支援事業の2,975万5,000円の減額の理由について伺います。

答

3月11日の被災以降、仮設住宅入居者が最大で69名ほどいました。その後、住宅の復興が完了した世帯から順次退去していただき、当初の見込みより退去者数が多かったため、予算に不利益が生じたためです。

議案第28号

平成24年度鉾田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

問

建設分担金の性格についてお尋ねします。

答

加入負担金というところで、工事費の5%分を受益者の皆さんに負担していただく分の負担金です。

議案第35号

鉾田市の施設の指定管理者の指定について

問

市営駐車場の指定管理者に指定する社団法人シルバー人材センターが、4月以降、公益社団法人に変更するそうですが、公益社団法人の指定や性格について伺います。

答

公益社団法人とは、一般の社団法人設立後に、行政庁に対して公益社団法人の認定申請を行い、そこで認定されると、社会的にとっても高い信頼度を得ることができます。

- 鉾田市部等設置条例等の一部改正について
- 鉾田市職員の給与に関する条例の一部改正について
- 鉾田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
- 鉾田市地域活動支援センターの設置及び管理に関する条例等の一部改正について
- 鉾田市中小企業事業資金融資あっせん条例の一部改正について
- 鉾田市スカイタウン団地内施設等管理条例の一部改正について
- 鉾田市営住宅管理条例の一部改正について
- 鉾田市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
- 鉾田市水道事業給水条例の一部改正について
- 鉾田市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
- 鉾田市議会委員会条例の一部を改正する条例について
- 鉾田市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例について

平成24年度補正予算

- 平成24年度 鉾田市一般会計補正予算(第7号)
- 平成24年度 鉾田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成24年度 鉾田市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成24年度 鉾田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成24年度 鉾田市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成24年度 鉾田市旭区域水道事業会計補正予算(第5号)
- 平成24年度 鉾田市鉾田区域水道事業会計補正予算(第5号)
- 平成24年度 鉾田市大洋区域水道事業会計補正予算(第3号)

選挙

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙
入江 晃

その他

- 市道路線の認定について(2件)
- 鉾田市公の施設の指定管理者の指定について

施政方針

主な質疑

総論

問

明るい未来の鉾田を考えたときに、合併計画に盛り込まれた特例債事業をどのように進めていくのか。当初計画の10年間で完了させるのか、震災で延長が可能ですが、期間を延長して事業計画を進めていくのか伺います。

答

今後の合併特例債の事業の展開としては、当初は合併特例債の期間内で事業化をしていくことを目指して取り組んできましたが、東日本大震災により事業が遅れる事態となりました。従って、平成24年6月に東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律により、特例債の期間

が最大10年延長できますので、当市の将来を見据えた事業の必要性和特例債事業の優位性を考慮し、特例債期間終了の前に期間延長の判断等を検討しつつ、事業を着実に実施をしていかなければならないと考えています。

問

市長は、合併からの7年間は産業の振興や生活道路の整備等インフラの構築に努め、旧町村間の垣根を取り払い、市としての一体性の確保など、新市建設計画に掲げた政策の種をまくことに重きを置いた黎明期としています。そして、平成25年度以降は、黎明期に蓄えてきた政策の種を萌芽させ、花を咲かせる発展期と捉えたとありますが、具体的にどのような考えがあるのか伺います。

答

旧旭村、旧鉾田町、旧大洋村が合併して新たに鉾田市が誕生し

ました。それぞれの町村において考え方の違いもあり、事業の進め方の手法等にも違いがありました。そのようなことから、何か事業を進めるためには、市民に対して理解を得られるよう丁寧な説明を心がけ、行政運営を行ってきたつもりであり、急がば回れというようなことわざがあるように、そのことが目的を達せるためには最善の方策であったと考えています。平成25年度以降は、これまで市民の皆様とともに進めてきた鉾田北中学校の改築工事、統合小学校の建設、新市連絡道路や涸沼・鹿島灘海岸道路などの合併関連道路などを整備していくことを考えています。

【基本目標2】
次代の農業を中心とした力強い産業づくり

問

力強い産業づくり、特に農業づくりについて、流通の拡大、そしてJA等と連携してトッブセールス等を展開するといったと思いますが、具体的にどのようなことを考えているのか伺います。

答

農業を基幹産業と位置づけている当市としては、生産者とともに行政並びに両JAのトップが連携して三位一体の活動を行っています。市場、卸業、販売店等へ出向いて、それぞれの立場からアピールすることで、より効果的に販売促進が図られると考えています。

【基本目標4】
個性と多様性を
尊び、地域文化を
はぐくむ人づくり

問

統合小学校建設に關して、最初の統合小学校を鉾田北中に隣接する場所に、平成27年度

までに整備すると説明がされています。余りに極端過ぎる計画ではないのかという市民の声も聞かれますが、住民の合意は十分得られているのか伺います。

答

平成24年度学校再編計画の策定に当たり、市内各小学校において地区説明会を開催しました。最終的に4校に統合することになった経緯と計画の内容、時期等について説明し、ご意見、ご要望等の結果は、既に市のホームページ、広報等に公表しています。その説明会においても時期を早めてほしいとか、自分の学校に統合してほしいなど、いろいろなご意見はありましたが、具体的に統合に反対するご意見はありませんでした。今回実施する実施設計においても、統合推進委員会の中で検討し、地区住民の方のご意見を可能な限り取り入れながら進めたいと考えています。

当初予算

主な質疑

議案第1号

平成25年度
鉾田市一般会計
予算

問 繰入金で、地域雇
用創出推進事業基
金が1億3,000万円
計上されてますが、これ
はどのような目的のため
に積んでおくのか伺いま
す。

答 平成25年度予算に
おいては、補助事
業に該当しないきめ細や
かな公共事業を実施し、
地域雇用の下支えをする
目的で学校施設改修工
事、図書館改修工事、市
道維持補修工事、クリー
ンセンター改修工事など
に1億3,000万円を
充当します。

問 観光資源魅力向上
事業、観光大使事
業、地域再生PR事業、
これらの事業の内容につ
いて伺います。

答 観光資源魅力向上
事業は、茨城空港
開設と、北関東高速道路
の開通によって鉾田の状
況が大幅変わってきてい
ることから、さらに鉾
田の観光をPRするた
め、観光ガイドブックの
作成や、ほこまるキャラ
クターグッズの作成をす
るものです。また、栃木
海浜公園で農産物を含め
て栃木県との交流の機会
を図りたいと考えていま
す。

観光大使事業は、観光
イベントやキャンペー
ン、消費宣伝等で活躍し
ていただく(仮称)鉾田
大使を募集し、今後市が
有する農産物や加工品の
魅力、湖や海の観光資源
を市、県内外へPRして
いく事業です。

地域再生発見PR事業
は、市内飲食店への鉾田
市の安全・安心な農産物、
畜産物、水産物を使用し
たメニューを各店舗に提
供していただき、市、県
外から観光客を誘致しよ
うという事業です。具体
的には、鉾田でしか食べ
られないご当地グルメを
提供する推奨店を登録し
ていきます。既に6店舗
が推奨されて、10種類の
メニューでスタートして
いますが、これからも随
時募集して推奨していき
たいと思っています。

問 伝染病のある疾病
の重度及び発生を
防止するために、市では
任意を含めて13種類の予
防接種を行っています。
その中の子宮頸がん、ヒ
ブ、小児肺炎球菌の3ワ
クチンの合計の予算は、
どのくらいか伺います。

答 子宮頸がんについ
ては931万5,

000円、ヒブについて
は1,088万円、小児
肺炎球菌については1,
366万円、合わせて3,
379万5,000円で
す。

議案第2号

平成25年度
鉾田市国民健康保険
特別会計予算

問 歳入予算全体で、
前年度より1.6%
増であるのに対して、保
険税収入が1.2%減に
なっている理由につい
て伺います。

答 医療費の高額化、
事業の長期化等に
より歳出における保険給
付費や高額医療費に係る
拠出金等が増加傾向にあ
ること。それに伴い、歳
入ではその財源としての
国庫支出金、交付金及び
法定分の繰入金等が補填
分として増額になること

が見込まれることから
1.6%の増額予算とし
たものです。
一方、保険税収入の減
については、被保険者数
の減が大きな要因です。
被保険者数は、平成20年
度に74歳以上の高齢者が
医療制度改正により移行
して以来、毎年500
人、2%程度減少してい
ます。



主な討論

議案第1号

平成25年度鉾田市一般会計予算

○反対討論（高野衛）

基金については、2億6,000万円の積み立てを予定し、基金残高が25億円と多額になっています。現在、地震に弱い木造住宅が約8,000戸あり、耐震補強工事への補助などにもっと基金を活用すべきと考えます。

消防費については、消防備品の購入や修繕の費用に住民の負担が続いており、自治体としての責任を果たしてないと考えます。

企画費において、霞ヶ浦導水事業建設促進協議会負担金が計上されています。大湊沼漁協や那珂川関係

漁協が反対している霞ヶ浦導水事業は、やめるべきと考えます。

教育費については、小学校統廃合計画では1学級当たりの児童数は35人以下としています。平成21年9月に出席した鉾田市学校教育施策検討委員会の答申では20人から25人の提言が出され、さらに昨年の第3回定例会では国に対し30人以下学級とする内容の意見書を全会一致で可決しました。これらの声に反する計画内容となっております。

その他評価できる内容もありますが、以上の点から、本案に反対します。

○賛成討論（畠長弘）

震災からの復旧・復興に向け取り組んできた結果、公共施設についてほぼ完了しましたが、市民全員が震災前の日常生活が取り戻せるよう、引き続き被災者支援に取り組むことが重要であると考えます。

震災からの復旧・復興、被災者支援、そして防災体制の整備強化へ優先的に取り組むとともに、鉾田北中学校改築工事及び鉾田北中学校学区の統合小学校建設に向けた実施計画や、合併関連道路の整備など合併特例債事業の推進や、不妊治療の一部

助成、生徒が抱える心の問題をいち早くキャッチするためのQUテストなど、市民満足度を高める施策が効率的に予算計上されているものと考えております。

また、財政の脆弱な本市において、将来世代に過度な負担を残すことのないよう、国、県からの補助金や有利な市債、さらには地域雇用創出推進基金など特定基金の有効活用を図ることにより、財政規律を重んじた予算編成に努めたものと考えられます。

以上の観点から、本案に賛成します。

議案第7号

平成25年度鉾田市水道事業会計予算

○反対討論（石津武吉）

今年度は3区域をまとめて予算の統一をする。さらに、大洋水道事務所、旭水道事務所を閉鎖して、西台のところへまとめて、さらには下水道課も一緒にして、そこを事務所にするとという大きな機構改革が強調されました。しかし、こうしたことを財政の問題だけでやられては非常に困ると思います。なぜ、大洋水道事務所を閉鎖しなくてはいいなかったのか。むしろ、あそこへ上下水道部を持つてきていただきたかった。合併することで、行政サービスが

ます遠のいてしまつことを懸念しております。

さらに、人件費を削減するため、人数を減らしておりますが、今や少なくともいけないことは、水道に加入してもらうことに力を注ぐべきだと思います。こんなに人数を削減して、果たして加入促進に力を尽くすことができるのか非常に心配されることです。見せかけだけの人件費を削減する、人を減らすということではうまくいかないと思います。

以上の理由で反対を表明します。

○賛成討論（小沼幸義）

水道事業は、合併協定書に基づき、平成25年度の事業完了を目的に進めてきましたが、平成24年度で事業がほぼ完了することから、平成25年度より事業を統合して経営の合理化を図るためにこの予算は計上されたものです。

事務事業の効率化を図るために、平成23年度の実績で旭水道事務所の利用者が1日平均3.4人、うち一般利用者は2.4人、大洋水道事務所の利用者が1日平均2.5人、うち一般利用者が1.2人と、各水

道事務所の利用者数が少ないことから、水道事務所の統合により人員削減を行うとともに、住民サービスの低下とならないよう水道料金のコンビ二収納などで対応し、検針業務の隔月検針など業務の民間委託の導入を推進することで、料金統一に向けた経費削減に努めていくものです。

また、平成22年度より実施してきた水道加入金軽減による水道加入促進事業を継続することで、水道料金の増収及び水道普及向上に努める考えで編成された予算であります。

以上のことから、本案に賛成します。



議会を長期間欠席したときは報酬を減額します！

議員提案により「鉾田市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例」を制定しました。

議員の職責を全うし、市民の皆様からの信頼にこたえられる議会を目指して、長期に渡り議員活動ができない場合における議員報酬及び期末手当の支給に関する条例を制定し、平成25年4月1日から施行しました。

主な内容としては、病気やけがなどにより議員活動を行うことができなくなった場合、一定期間経過後に報酬等を減額するものです。

議員活動ができない期間	割合
90日を超え365日まで	30%減額
365日を超えるとき	50%減額

本会議及び常任委員会欠席者

第1回臨時会

2月4日	本会議	江沼 久男 小沼 俊秀 飯塚 幸右衛門
------	-----	---------------------

第1回定例会

3月5日	本会議	飯塚 幸右衛門
3月7日	本会議	江沼 久男 飯塚 幸右衛門
3月8日	本会議	江沼 久男 飯塚 幸右衛門
3月13日	本会議	飯塚 幸右衛門
3月14日	本会議	江沼 久男 飯塚 幸右衛門 友部 政徳
3月15日	総務企画常任委員会	江沼 久男
3月18日	経済建設常任委員会	小沼 俊秀 飯塚 幸右衛門
3月22日	本会議	小沼 俊秀 飯塚 幸右衛門

平成25年 第1回鉾田市議会定例会 討論一覧

議案第1号 平成25年度 鉾田市一般会計予算

反 対	高野 衛	賛 成	畠 長弘
-----	------	-----	------

議案第2号 平成25年度 鉾田市国民健康保険特別会計予算

反 対	高野 衛	賛 成	倉川 陽好
-----	------	-----	-------

議案第3号 平成25年度 鉾田市後期高齢者医療特別会計予算

反 対	高野 衛	賛 成	入江 晃
-----	------	-----	------

議案第5号 平成25年度 鉾田市農業集落排水事業特別会計予算

反 対	石津 武吉	賛 成	入江 晃
-----	-------	-----	------

議案第6号 平成25年度 鉾田市公共下水道事業特別会計予算

反 対	石津 武吉	賛 成	井川 茂樹
-----	-------	-----	-------

議案第7号 平成25年度 鉾田市水道事業会計予算

反 対	石津 武吉	賛 成	小沼 幸義
-----	-------	-----	-------

各議員の賛否（賛成反対が分かれた議案のみ掲載）

議 案 名	根 寄 眞	小 沼 幸 義	出 沼 丈 夫	小 川 一 彦	水 上 美 智 子	入 江 晃	江 沼 久 男	小 沼 俊 秀	飯 塚 幸 右 衛 門	岩 間 勝 栄	畠 長 弘	井 川 茂 樹	米 川 宗 司	菅 谷 達 男	友 部 政 徳	山 口 徳	栗 田 洋	田 口 清 一	堀 田 正 衛	高 野 衛	石 津 武 吉	倉 川 陽 好	採 決 結 果
平成25年度 鉾田市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成25年度 鉾田市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成25年度 鉾田市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成25年度 鉾田市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成25年度 鉾田市公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成25年度 鉾田市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
鉾田市部等設置条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 欠：欠席

委員会報告

<予算審査>

平成25年3月15日
総務企画常任委員会開催

平成25年3月18日
経済建設常任委員会開催

平成25年3月19日
厚生文教常任委員会開催

場所／鉾田市役所3階 議員控室

総務企画常任委員会

議案第1号について、国庫支出金の特定防衛施設周辺整備調整交付金と再編交付金の使途に関する質疑や市税の個人分が前年より大幅に増加する要因は何かなど、歳入全般に渡り質疑を行いました。

次に歳出に関する質疑が行われ、旭市民センターにおける再生可能エネルギー導入促進事業の内容に関する質疑や、防犯灯、カーブミラーの整備に関する質疑のほか、

LED設置事業、ふるさと見聞館の活用、防火槽撤去、エコパーク・サニタリーセンターの維持管理費についてなどの質疑が行われました。

討論では、基金の積立分を震災復興に拡充すべきこ



総務企画常任委員会

と、各地区における消防施設への住民負担をなくすこと、また霞ヶ浦導水事業で国・県の事業推進に本市も推進をする姿勢をとっていることを理由に反対討論がありました。これに対し、震災復興に對しこれまでも予算措置を行っていること、霞ヶ浦導水事業では鉾田市が単独で判断できるものでなく、関係団体の協議会の中で検討されるべきであること、また、予算の総論では全般的に市民に對しきめ細かいサービスを実施できるものであり、賛成するとの討論がありました。

採決の結果、議案第1号の本委員会所管事項については、賛成多数により原案のとおり可決されました。

議案第2号について、質疑では震災被災者の保険料を減免すべきとの意見がありました。平成25年度からは減免措置がなくなることでした。

この減免措置について反対討論がありました。これに対し、低所得者に対して自己負担を減額する制度もあり、本予算案に賛成するとの討論がありました。

採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

議案第3号について、短期保険証発行に関する質疑のあと、後期高齢者医療制度をやめ高齢者医療費を実質無料にすべきとの反対討論がありました。これに対し、現在医療費の個人負担は1割に留まっていることから、本予算に賛成するとの討論がありました。

採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

経済建設常任委員会

議案第1号の一般会計予算における本委員会所管事項について、歳入に関する質疑を行いました。社会資本整備総合交付金の使途は、新市連絡道路整備の事業費に、農林水産費県補助金の増額は、新規就農支援費等に充てるとのことでした。

歳出に関する質疑では、引き続き産地ブランドアップ事業に取組み、今後も鉾田市の知名度アップ、農産品のPRを行っていきたいとのことでした。さらに、商工観光課を設置し新たな事業を進めると

ともに、商工業者との町内の再生について方向性を探ることを優先的に進めるとのことでした。

新市連絡道路関係予算については、2工区の買収と3工区の工事に入る予定で、平成27年度までの計画で進めているとのことでした。

討論では、一般会計歳入歳出予算で力強い産業づくり及び商工業を本気で進めるのであれば、もう少し思い切って予算編成をして欲しかった。道路整備もスピー

ド感をあげるようにとの

反対討論に対して、安定した予算編成に取組み、農業振興策として新しい事業をいくつか取り入れている姿勢が認められるとの賛成討論がありました。

採決の結果、賛成多数



により原案のとおり可決されました。

議案第5号について、加入率の悪さや一般会計からの繰り入れに対して質疑があり、その対策に今後は加入促進を図るため個別訪問するとのことでした。

討論では、一般会計から持ち出しを減らしていく努力をすべきとの反対討論に対して、加入者の推進を図るよう努力して頂くことを期待し、賛成するとの討論がありました。

採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

議案第6号について、今後の整備に関して質疑があり、桜本地内を予定しているとのことでした。

討論では、加入率が懸念され一般会計からの持ち出しが問題であるとの反対討論に対して、水質浄化の観点からも必要な事業であるので、加入率の推進を図ることを期待し、賛成するとの討論がありました。

採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

厚生文教常任委員会

議案第1号の一般会計予算における本委員会所管事項について、歳入に関する質疑では、学校給食納付金の滞納について質疑がありました。

次に歳出に関する質疑を行いました。生活保護扶助費が前年度から増えている理由については、平成25年1月末現在の保護受給世帯は335世帯であり、昨年3月末と比較して26世帯増えていることが主な原因であるとのことでした。

QUテストとは、生徒の抱える心の問題をいち早くキャッチし早期対応を図るための心理テストであり、

まず中学1年生を対象に5月6月頃と10月11月頃の年2回実施する



予定とのことでした。

原子力・エネルギー教育支援事業について、太陽光や蒸気で発電する実験器具の購入のほか、中学校で指導要領の改訂に伴い、放射線についての項目が入ったため、放射線測定器についても各学校1台を購入して活用を図るということです。

採決の結果、議案第1号の本委員会所管事項については、全会一致で原案のとおり可決されました。

議案第4号については、議案に対する質疑・討論はなく、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決されました。

議案第7号について、県企業局との協議に関する過去の経緯についての質疑がありました。

また、水道料金の統一に向けて、平成25年度は現在の14人体制から9人体制にして人件費の削減にも努めるほか、水道料金に係る検針業務についても現在の毎月から隔月の実施に変更するなど、コスト削減の自助努力をしているとのことでした。

採決の結果、全会一致で原案のとおり可決されました。

ここが聞きたい!! 一般質問

10人の議員が一般質問

議 員 名	質 問 事 項
倉 川 陽 好	1. 雑草除去対策について 2. 選挙管理委員会について 3. 生活保護制度の市の状況と対策について
石 津 武 吉	1. 防災ラジオの受信不良について 2. ソーラー発電会社との市有地賃貸借契約について 3. ふるさと納税について 4. いじめ、体罰問題について
小 川 一 彦	1. 鉾田ブランドアップについて 2. 上水道について 3. 教育行政について 4. 道路行政について 5. 下水道の計画について 6. ゴミの減量について 7. 市税の滞納について 8. 市職員の給料について 9. 財政計画について 10. 合併特例債事業について
畠 長 弘	1. 水道事業の統合について 2. 体罰と教育環境について 3. 商工・農の活性化について 4. 道路事業について
出 沼 丈 夫	1. 美原球場の利用度について 2. 通学路整備について
井 川 茂 樹	1. デマンド交通について 2. 国民体育大会について
水 上 美 智 子	1. 通学路の安全対策について 2. 地域防犯対策について 3. 学童保育について 4. 障害者専用駐車場について 5. 市民生活の安全について
高 野 衛	1. 市長の政治姿勢について 2. 市長選挙について 3. 子どもの医療費無料について 4. 下水道問題について 5. 道路行政について
入 江 晃	1. 地域の元気臨時交付金について 2. 中小企業小規模事業者試作開発などへの支援補助金について 3. 鉾田総合公園の進入路について
菅 谷 達 男	1. 生活・雨水排水路の整備について



雑草除去対策

倉 川 陽 好 議員

問 東日本大震災の影響で旧町内も空き地が目立つようになりました。農業日本一の鉾田市へ訪れる観光客の皆様の期待に応えるためには景観づくりは大事な要素だと思います。北浦湖畔駅周辺の農地、新鉾田駅周辺の河川の雑草等を除去することも大事なことだと思います。現在、市ではこれらに対する条例や対策はどのように取り組んでいるのか伺います。

答 【建設部長】 市道敷の草木の除草、剪定については、危険な地形の状況、及び人力等では処理が困難な箇所を業者へ発注する場合もあります。しかし、全延長を市の予算で対応することは非常に困難であり、基本的には、地元の皆様へ協力をお願いしています。また、市道に接している民有地から生えている草木等については所有者の管理になりますので、交通に支障のある場合には、文

書等により適切な管理をお願いしています。条例について、現在は制定していません。
提言 都会の人があこがれる地方に変わって、里山の風景だといわれています。その里山の風景は鉾田市の観光の目玉にすることができると考えます。これから市で観光地を目指すのにはそのようなことも十分把握して、縦割り行政というのはいけませんから、建設課に任せるだけでなく

ホームページで 一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

① 鉾田市のホームページへアクセスする。

アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>

② 市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。

③ 会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、6月頃の予定です。

本会議の会議録（冊子）は、市立図書館で閲覧できます。

鉾田市役所ホームページ

検索





合併特例債事業

小川 一彦 議員

問 鉾田市が誕生して8年が経過しようとしています。合併当初は、あれもこれもと夢を持って3町村が一緒になりました。しかし、現実はそのでなかつたように感じます。あれもこれから、あれかこれかに変わり、このままではあれもこれでもできずに10年が過ぎ去ってしまうと考えます。そこで、合併特例債事業を柱に今後の鉾田市の展望、ビジョンについて市長の考えを伺います。

答 【市長】この事業については、合併時、住民の皆さんのアンケートによる要望やら、新市としての一体化、インフラの整備等を踏まえて新市のまちづくり計画の中で予定しました。ただ、当時事業等に関する詳細な設計見積もりを行っていませんので、数字が大変アバウトでした。いざ事業を具体化した中で、事業費が大きくなった、また新しい事業も入ったり、現実には全てやるこ

とは大変難しいのが現状です。しかしながら、住民の皆さんにも約束したことですし、この事業を進めることで市のいろんな意味でのレベルアップが図れると私は思っています。そういう面で、今後また事業を見直し、27年度以降、震災の影響で期間の延長等も認められていますので、その辺も今後協議しながら、でき得る限りこれを進めていきたいと思っています。

再質問 全てはできない、これには力を入れていきたいというものがあれば伺います。
答 【市長】やはり鉾田市がすぐれているところを伸ばしていくことが大事だと思っています。そして、おくられている部分は、少しでもほかの他市町と少なくとも肩を並べるように補っていくことが一番の基



ソーラー発電会社との市有地賃貸借契約

石津 武吉 議員

問 鉾田市商工会が設立したソーラー発電会社との市有地の賃貸借契約に関して、本来、商工会が営利目的に事業を行うことは法律で禁じられています。また、鉾田市商工会長が鉾田商工ソーラー発電株式会社社長として、鉾田市商工会との間で事務委託契約を結んだ場合、商工会長の代表権を失い、商工会の監事が代表権をかわって行使するのが法の趣旨ですので、

それらについて伺います。
答 【総務部長】商工会法第6条第2項に、「商工会は、特定の個人又は法人その他の団体の利益を目的として、その事業を行ってはならない」と規定されていますので、ご指摘のとおりです。また、商工会会長と商工ソーラー発電株式会社社長が同一人物であるので、商工会法第36条に規定する商工会と会長の利益が相反するため、商工会監事が商工

会を代表しなければなりません。
再質問 鉾田市商工会の事務所内にて鉾田商工ソーラー発電株式会社の営業活動を行うことは、法の趣旨に反しますが、監督官庁の茨城県商工労働部から行政指導があったか伺います。
答 【総務部長】茨城県中小企業課に確認したところ、商工会館に他の法人の事務所を置くことは、目的外使用に当たると

め、事務所の所在地を変更するよう指導したとのことでした。
鉾田商工ソーラー発電株式会社では、現在、事務所所在地の変更手続中ということでした。
再質問 こういうことについて、市長に伺います。
答 【市長】住所を変更するようになったことは、我々のほうでも少し足りない部分があったと感じています。



美原球場の利用度

出 沼 丈夫 議員



農の活性化

畠 長 弘 議員

問

人・農地プランについて、本市としての取り組み、対象者に対しての周知を含め、支援策についてお聞きをいたします。

答

【産業経済部長】人・農地プランを作成した場合のメリットとして、青年就農給付金、農地集積協力が受けられます。さらには、認定農業者に限りますけども、スーパーL資金の当初5年間の無利子化を受けられるようなメリットもありますので、これら

も協議をしながら進めている状況です。

また、平成25年度からは、国庫補助事業である経営体育成支援事業を受ける際にも、人・農地プランを策定しているということが採択要件となりますので、本市においても、このメリットを受けられるよう、既に策定作業に着手しています。それから、周知については、既に広報紙への掲載、さらには認定農業者への個別通知により周知を図って

問

旧鉾田町当時には各地に球場がありました。現在では、これらのほとんどが農地や山林に改良され、利活用されていますが、その中の一つに美原球場が今も球場として利用されています。この土地は市有地なのか、個人所有地なのか伺います。

答

【教育部長】この土地は市内の個人の方からの借地です。市の管理で、除草作業等は生涯学習課の職員が行っています。利用状況は、土曜、日曜が中心で、年間60日程度の利用です。種目的には野球が中心で、そのほか子ども会のキックベースボールや

再質問

農地の集約化という面も含めて、鉾田市に合ったものをこれから作成していかねばいけないと思いますので、どのような形の中で進めていくのか伺います。

答

【産業経済部長】鉾田市では、認定農業者

再質問

土地の賃貸借契約は何年の契約

答

【教育部長】単年度の借地契約で、年間94万4,152円で使用契約をしています。今回、水道を引くために予算計上しました。それと、フェンス関係についても、破れたところは補修していますが、傾いている部分等もあるので、これも整備したいと考えています。

が現在860名、新規就農者が、今回支援を申請された方で18名います。そういった方を基盤にしながら、農地の集積とかを話し合い、随時、計画に変更をかけながら増やしていきたいと思っています。農地の集約をする場合に貸し手側と借り手側の理論がよく合わないというま

くいかないので、農業委員会と連携していきたいと考えています。



通学路の 安全対策

水上 美智子 議員

答 【教育部長】 昨年5月、県から通学路の安全点検実施の依頼があり、小中学校で安全点検を実施し、合わせて61カ所の

問 国の防災安全交付金は通学路の対策箇所数等を記した図表を公表した自治体が申請して初めて交付されます。鉾田市は公表していませんが、どのような取り組みをしているのか伺います。また、教育長の見解についても伺います。

危険箇所の報告があり、これらについて関係機関と緊急合同点検を実施し、随時安全対策を講じているところです。対策必要箇所が、今後着実かつ計画的に実施されるためには、予定される対策の内容が各学校単位で明示され、地域関係者が認識を共有して取り組むことが重要であります。対策必要箇所の状況、対策内容及び事業主体を示した対策一覧表と、対策必要箇所の位置、状況及び対策内容を

明示した対策箇所図を作成し公表するよう国から県を通して依頼が来ています。この対策一覧表及び対策箇所図については、現在都市建設課で作成を進めているところで、近々公表される予定です。

【教育長】 もちろん、危険箇所等に記されているところですから一刻も早く対処したいという気持ちはあります。

私は、交通安全対策をすることも大事ですが、それ

よりも鉾田市民全体が交通マナーの向上、安全運転に対する認識、登下校時の児童生徒の通学する場所に対しての気遣いなど、市民挙げて注意・喚起する取り組みを進めたいと考えています。そのためには、一人一人がまず安全運転に心がけるといふ、その大事な視点を外してはならないと思っています。



国民体育大会

井川 茂樹 議員

問 過日の新聞報道で、鉾田市での国体開催競技は山岳競技とありました。これまで県との協議過程の中で、市として山岳競技以外にどのような競技の開催を話し合っていたのか伺います。

また、平坦な土地の多い本市では、山岳競技のイメージが湧かない部分もあるのですが、どのような競技種目なのか伺います。

また、開催までの今後のスケジュールと、地域おこ

答 【教育部長】 山岳競技のほかどのような競技の開催を話し合っていたかですが、第1希望としては前回、昭和49年の茨城国体で開催地となった卓球、第2希望として剣道、第3希望は空手道で、県の国体準備室と協議、調整をしてきました。最終的には競技団体の意向と合致せず、会場地になることはかないませんでした。

山岳競技の内容ですが、人工的に壁をつくり、2種類の競技を行います。一つはリード競技で、高さ12メートル以上、幅3メートル以上の壁を登り、到達した高さを競う競技です。もう一つは、ボルダリング競技で、高さ5メートル以内、壁面積が約60平方メートルの比較的低い壁を登り、それを完登した数を競う競技です。

今後のスケジュールとして、来年度、中央競技団体

の会場視察が正式に行われます。そして、開催3年前に日本体育協会、文部科学省の視察があり、競技会場の正式決定となります。市としては、国体準備委員会の組織をつくり、今後国体準備室の設置を考えています。加えて関連団体の育成、支援を図り、競技に興味・関心を持てるよう、市民の皆様と一緒に地域おこし等も含めた中で推進していきたいと考えています。



地域の元氣 臨時交付金

入江 晃 議員

問 国が2012年度補正予算に計上した地域の元氣臨時交付金の事業の内容と、この交付金に対する銚田市の取り組みはどのようにしていくのか伺います。

答 【総務部長】地域の元氣臨時交付金は、平成25年1月11日に閣議決定された日本経済再生に向けた緊急経済対策に伴う国の平成24年度補正予算（第1号）に計上された補助金等を活用し実施する追加の公

再質問 今後学校統合その他から庁舎の耐震化等進めていかなければなりません。いろいろな補助金をどんどん活用して市

答 【総務部長】8,000万円の交付額もまだ確定していない部分ですから、仮に交付額がこれ以上増えるのであれば、例えば公民館の耐震工事には充当したいと考えています。



市長の 政治姿勢

高野 衛 議員

問 TPP（環太平洋パートナーシップ協定）について、農業を基幹産業としている銚田市にとっても大変重大な問題です。市長の見解を伺います。また、原発の再稼働について、市長の見解を伺います。

答 【市長】TPPの問題については、米を初めとする関税が撤廃されるのであれば、TPPに対しては反対です。原発については、原発の稼働を全部止めて、原発が発電していた量を自然再生エネルギーで補うことは無理であり、火力発電所のウエートが増えています。火力発電所について、石油は中東に依存しており、エネルギーの安定供給や、それに伴う電気料金の値上げなど、コスト削減の観点からすれば、原発をとめるのは難しいと思っています。今後については、原子力規制委員会並びに所在地の皆さんの判断を尊重したいと思っています。

再質問 昨年の夏は、大半の原発が停止していても、電力は足りませんでした。昨年の9月議会で原発に対する市長の考えは、基本的には原発は減らす、なくすという考えですと明確に述べていましたが、今の答弁では後退している気がしますので、その点伺います。

答 【市長】その当時は、原子力規制委員会等の発足以前で、客観的に科学的に検証する組織はなかったと思います。新しくそういう独立した委員会が発足して、そこで客観的にいろいろ検討し、新しい基準を設ける。その点、先ほど述べたように、原発を止めたままで、代替エネルギーが確保されるのか、その辺ももっと議論されるべきと考えます。もちろん原発を止めて、それにかわるエネルギーがあり、価格的にも上がらないのであれば当然それがベストだと思います。

主な議会の動静

2月

- 4日 議会運営委員会
- 4日 平成25年第1回臨時会
- 4日 全員協議会
- 4日 正副議長・正副委員長会議
- 5日 茨城県市議会議長会第2回議員研修会（水戸市）
- 8日 議員研修会
- 27日 議会運営委員会

3月

- 5～22日 平成25年第1回定例会
- 5日 全員協議会
- 8日 議会運営委員会
- 13日 鉾田市災害復旧復興対策特別委員会
- 15日 総務企画常任委員会
- 18日 経済建設常任委員会
- 19日 厚生文教常任委員会
- 22日 全員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 22日 議会広報編集委員会

4月

- 12日 市町村長・市町村議会議長会議（茨城県主催）
- 17日 正副議長・正副委員長会議
- 19日 県東市議会議長会総会（神栖市）
- 22日 茨城県市議会議長会理事会及び定例会（水戸市）
- 23日 議会広報編集委員会
- 25～26日 第79回関東市議会議長会定期総会（山梨県甲府市）

掲載写真募集!!

あなたの写真を
議会だよりに掲載しませんか？
詳しくは、議会事務局に
お問い合わせ下さい。
尚、編集の都合上、写真は
縦長にてお願い致します。



生活・雨水排水路の整備

菅谷 達男 議員

問 道路の整備とともに、排水路整備を行い、大雨などが降ったときに浸水することを防止して、地域住民の安全で安心な生活環境基盤をつくっていくことは、重要な課題です。その排水路整備を計画し施行する際に不可欠な条件の一つに、流末処理方法が挙げられます。その不可欠条件が満たされないために、途中まではしっかりとした排水路であるにもかかわらず、排水路として機能

しない状態に放置しておくことは問題があります。流末までの整備要望は何力所あるか。そして、今後どのように対応していくのか伺います。

答 【建設部長】平成21年度に各地区から再提出された要望書では、流末排水の整備も含めた道路排水整備の要望件数は32件あります。

対応については、道路拡幅改良の要望書と一緒に道路整備審議会において審

議、評価をして、Aグループに分けられた箇所から優先的に整備していきます。

再質問 わかりやすい言葉で言ってしまうと、途中でしっかりと排水ができていないのに流末まで行っていない、いわゆる「おっ放し」について、どのように考えているのか伺います。

答 【建設部長】最近では、先に流末整備を完全にしてから道路整備という形を取

り入れましたので、少なくなってきました。以前は、道路整備を優先したことで、一時的に地権者の了解を得ながら土地を借りて流した経過があります。全体の把握はできていませんが、できるものについてはなるべく早い段階で取りかきたいと思っています。流末まで持つていくのには相当の経費がかかりますので、予算の範囲の中で整備したいと考えています。

傍聴者の声



二重作区長
中根 忠良

6年間区長を経験させていただき、都合のつく限り市議会の傍聴に出席しました。市の行政の流れ、方向性を知り、大変勉強になりました。議員さんの市政に対する意見、地区地域の問題等真剣に質問され、市の発展に寄与されている事に市民として心強く思っております。また執行部側も親切丁寧に答弁され、分かり易く思いました。活発な質疑応答が市の発展につながると思います。市民の皆様もぜひ一般質問を傍聴してはいかがでしょう。議員の皆様のお励みになります。

6月定例会日程(予定)のお知らせ

月 日	会 議 内 容
6月4日(火)	本会議 開会
6月6日(木)	一般質問
6月7日(金)	一般質問
6月10日(月)	委員会
6月11日(火)	委員会
6月12日(水)	委員会
6月14日(金)	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成25年第一回(3月)定例会の延傍聴者数50名

議会報告会 開催のお知らせ

鉾田市議会では、議会の活動内容を広く市民の皆様にご覧いただくため、議会報告会を開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：5月26日(日)

午後7時00分から午後9時00分

場所：鉾田市役所 2階 大会議室

編集後記

今回の議会だよりの表紙には諏訪小学校の入学式の写真を掲載させていただきました。

春の日射しの強く感じられるなか行われた入学式で見せる子どもたちの明るい元気な表情、時折見せる少し不安げな姿を見ると、今後充実した学校生活を送ってほしいと祈るものであります。

平成25年度の小学校の児童数は2,435人、中学校生徒数1,337人となっています。各学校では、それぞれの地域資源や、自然環境を学習内容に取り入れながら、郷土を愛する豊かな心と生きる力を身につける教育を行っています。歴史に学び今を生き、未来を創る人間像が求められるのではないのでしょうか。

議会だよりは、市議会の活動を公正かつ正確にお伝えすること、市民に親しまれ、読んでいただける紙面づくりに努めてまいりたいと思います。ご意見、ご感想をお待ちしております。

(根寄真記)

委員長 友部 政徳
副委員長 根寄 眞
委員 水上 美智子 井川 茂樹
米川 宗司 高野 衛